

平成30年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年3月29日

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中村 利江
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 ビジネスサポート本部長 (氏名)宮下 淳 (TEL) 03-6777-0870
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	2,568	1.7	341	△8.4	353	△4.0	225	24.0
29年8月期第2四半期	2,525	25.8	372	74.0	368	68.2	181	△9.4

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 295百万円(56.6%) 29年8月期第2四半期 188百万円(△4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	5.56	5.46
29年8月期第2四半期	4.51	4.34

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第2四半期	4,950	2,877	57.8
29年8月期	4,439	2,712	60.8

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 2,863百万円 29年8月期 2,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	3.30	3.30
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,434	9.9	819	2.4	824	3.3	478	10.7	11.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年8月期2Q	44,390,400株	29年8月期	44,390,400株
② 期末自己株式数	3,893,637株	29年8月期	3,904,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	40,493,483株	29年8月期2Q	40,307,870株

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成30年3月30日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年9月1日から平成30年2月28日）につきまして、当社グループは、基本方針である「出前館事業における飛躍的な成長」に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

「出前館ファンの急拡大に向けた積極的な投資」につきましては、第1四半期より進めている3回注文の促進、『出前館』独自のロイヤリティプログラム「出前にゃんクラブ」の運用を推進してまいりました。また、2017年12月上旬より2018年1月初旬まで、関東地方及び関西地方全域で『出前館』のテレビCMのスポット放映を実施し、『出前館』の認知度向上につなげるとともに、CM内容に連動するキャンペーンを実施し利用促進を図って参りました。

「市場拡大に向けた店舗開拓」につきましては、シェアリングデリバリー®の推進により、第2四半期においても、「リンガーハット」や「丸亀製麺」といった大手人気チェーン店や、新規拠点における地元の人気店が『出前館』の加盟店舗に加わり、2018年1月31日には加盟店舗数が16,000店舗を突破しました。また、新聞販売店のASAを中心としたシェアリングデリバリー®拠点は順調に拡大し、2018年2月末時点で合計23拠点となりました。

「店舗オペレーションの改善に向けた施策」につきましては、2017年10月にリリースした「出前館オーダー管理アプリ」の加盟店舗への導入を進めてまいりました。本アプリは、タブレット・スマートフォンを通じて、簡単に『出前館』経由の注文を受信できるだけでなく、お届け場所へのナビゲーション機能など、管理ツールとしても利用でき、加盟店舗のオペレーション負荷の軽減に役立っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,568,781千円（前年同期比1.7%増）、営業利益は341,034千円（前年同期比8.4%減）、経常利益は353,570千円（前年同期比4.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は225,187千円（前年同期比24.0%増）となりました。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	161,740	6.4	194,587	7.6	32,846	20.3
オーダー手数料	916,969	36.3	1,241,371	48.3	324,402	35.4
広告収入	23,645	0.9	8,107	0.3	△15,537	△65.7
システム受託開発	29,088	1.2	—	—	△29,088	△100.0
その他	279,629	11.1	434,199	16.9	154,569	55.3
小計 (当四半期ベース)	1,411,074	55.9	1,878,266	73.1	467,191	33.1
デリズ影響額(注)	332,070	13.1	—	—	△332,070	△100.0
連結範囲の変更に 伴う影響額(注)	29,330	1.2	—	—	△29,330	△100.0
小計 (前四半期調整後)	1,772,475	70.2	1,878,266	73.1	105,790	6.0
通信販売事業	753,245	29.8	690,515	26.9	△62,730	△8.3
合計	2,525,720	100.0	2,568,781	100.0	43,060	1.7

(注) 前第2四半期連結累計期間で当社連結子会社であった(株)デリズは、前第3四半期連結会計期間で株式を売却したことに伴い連結子会社でなくなっておりますが、前第2四半期連結累計期間の出前館事業に含まれておりました(株)デリズの影響額を「デリズ影響額」と記載する一方、連結範囲の変更に伴う影響額を「連結範囲の変更に伴う影響額」として記載しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるアクティブ会員数は約255万人（前年同期比20.0%増）、加盟店舗数は16,081店舗（前年同期比10.5%増）、オーダー数に関しましては約1,102万件（前年同期比34.4%増）となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、基本運営費194,587千円、オーダー手数料1,241,371千円、広告収入8,107千円、その他434,199千円となり、セグメント売上高は1,878,266千円（前年同期比6.0%増）となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間に株式を売却した㈱デリズの売上の影響を除くと、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は前年同期比33.1%増となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、新規顧客の獲得に主眼を置いて今後の成長に向けた母集団形成に向けた活動を行った結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は690,515千円（前年同期比8.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で440,349千円増加し、3,960,221千円となりました。主な要因は、現金及び預金が81,241千円減少した一方、未収入金が368,695千円、受取手形及び売掛金が103,329千円増加したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で71,258千円増加し、990,445千円となりました。主な増減の要因は、投資有価証券が109,581千円、ソフトウェアが39,741千円、ソフトウェア仮勘定が13,235千円増加した一方、のれんが51,516千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で511,607千円増加し、4,950,667千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で350,202千円増加し、2,048,219千円となりました。主な増減の要因は、1年内返済予定の長期借入金が50,418千円、支払手形及び買掛金が19,008千円減少した一方、未払金が459,124千円、賞与引当金が6,325千円増加したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で3,346千円減少し、24,926千円となりました。主な増減の要因は、長期借入金2,004千円減少したことによるものです。

純資産残高は、前連結会計年度末比で164,751千円増加し、2,877,521千円となりました。主な増減の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を225,187千円、資本剰余金の増加1,318千円、自己株式の処分を1,250千円を計上した一方、剰余金の配当133,605千円及び自己株式の取得69千円を計上したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,181,563千円となり、前連結会計年度末と比較して81,241千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、233,413千円（前年同四半期は362,763千円の増加）となりました。主な増減の内訳は、法人税等の支払額129,875千円等の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益339,008千円、減価償却費80,245千円、のれん償却額51,416千円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、128,654千円（前年同四半期は140,123千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、無形固定資産の取得による支出111,152千円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、185,860千円（前年同四半期は169,005千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、長期借入金の返済による支出52,422千円、自己株式の取得による支出69千円、自己株式の処分による収入1,747千円、配当金の支払額133,719千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期第2四半期の連結業績は、平成29年10月12日公表の平成29年8月期決算短信に記載した平成30年8月期第2四半期連結累計期間ならびに通期の連結業績予想に対する進捗率では、以下のとおり堅調に推移しております。

なお、連結業績予想の修正の要否については、引き続き慎重に検討を行っており、平成30年8月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月12日公表の「平成29年8月期 決算短信」に記載した連結業績予想に変更はありません。

[対連結業績予想進捗率]	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する 当期純利益
第2四半期（累計）	100.6%	102.1%	105.1%	113.1%
通期	47.3%	41.6%	42.8%	47.1%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,262,804	2,181,563
受取手形及び売掛金	407,735	511,064
商品及び製品	58,097	71,267
未収入金	736,208	1,104,904
繰延税金資産	22,637	22,637
その他	36,114	73,714
貸倒引当金	△3,725	△4,929
流動資産合計	3,519,872	3,960,221
固定資産		
有形固定資産	78,811	72,155
無形固定資産		
ソフトウェア	446,235	485,977
ソフトウェア仮勘定	5,818	19,053
のれん	68,655	17,138
その他	138	138
無形固定資産合計	520,848	522,308
投資その他の資産		
投資有価証券	196,285	305,867
差入保証金	62,592	56,213
繰延税金資産	37,888	6,047
その他	23,271	28,287
貸倒引当金	△510	△434
投資その他の資産合計	319,527	395,981
固定資産合計	919,186	990,445
資産合計	4,439,059	4,950,667

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,812	92,803
1年内返済予定の長期借入金	75,455	25,037
未払金	1,206,615	1,665,740
未払法人税等	151,950	126,315
賞与引当金	25,674	31,999
その他	126,509	106,322
流動負債合計	1,698,016	2,048,219
固定負債		
長期借入金	7,642	5,638
その他	20,630	19,288
固定負債合計	28,272	24,926
負債合計	1,726,289	2,073,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	634,703	636,022
利益剰余金	1,388,457	1,480,040
自己株式	△469,316	△468,135
株主資本合計	2,667,146	2,761,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,293	98,504
為替換算調整勘定	3,976	3,593
その他の包括利益累計額合計	31,270	102,098
新株予約権	8,280	7,459
非支配株主持分	6,073	6,735
純資産合計	2,712,770	2,877,521
負債純資産合計	4,439,059	4,950,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	2,525,720	2,568,781
売上原価	882,021	924,050
売上総利益	1,643,698	1,644,730
販売費及び一般管理費	1,271,309	1,303,696
営業利益	372,389	341,034
営業外収益		
受取利息	592	34
受取配当金	1,221	1,465
持分法による投資利益	4,841	10,405
為替差益	—	66
助成金収入	2,200	—
その他	2,612	1,649
営業外収益合計	11,468	13,620
営業外費用		
支払利息	12,135	420
その他	3,509	664
営業外費用合計	15,644	1,084
経常利益	368,212	353,570
特別損失		
固定資産売却損	520	—
固定資産除却損	23,434	792
減損損失	35,951	13,768
投資有価証券評価損	3,510	—
特別損失合計	63,416	14,561
税金等調整前四半期純利益	304,796	339,008
法人税等	124,310	114,623
四半期純利益	180,486	224,385
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,134	△801
親会社株主に帰属する四半期純利益	181,620	225,187

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	180,486	224,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,154	71,211
為替換算調整勘定	△901	△74
その他の包括利益合計	8,253	71,136
四半期包括利益	188,739	295,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,130	296,016
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,390	△493

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	304,796	339,008
減価償却費	101,713	80,245
減損損失	35,951	13,768
のれん償却額	73,852	51,416
株式報酬費用	3,265	—
固定資産除却損	23,434	792
投資有価証券評価損益(△は益)	3,510	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	976	1,127
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,665	6,325
受取利息及び受取配当金	△3,805	△1,499
支払利息	12,135	420
持分法による投資損益(△は益)	△4,841	△10,405
売上債権の増減額(△は増加)	△36,783	△103,253
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,565	△13,565
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,796	△19,008
その他	△7,957	14,475
小計	516,681	359,849
利息及び配当金の受取額	3,805	3,910
利息の支払額	△12,169	△470
法人税等の支払額	△145,553	△129,875
営業活動によるキャッシュ・フロー	362,763	233,413
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△751	△9,634
無形固定資産の取得による支出	△133,691	△111,152
長期前払費用の取得による支出	△598	△642
貸付けによる支出	△430	—
その他	△4,650	△7,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,123	△128,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△52,422	△52,422
自己株式の取得による支出	△28,941	△69
自己株式の処分による収入	14,163	1,747
配当金の支払額	△101,002	△133,719
その他	△803	△1,397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,005	△185,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,446	△139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	52,188	△81,241
現金及び現金同等物の期首残高	1,719,798	2,262,804
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,771,986	2,181,563

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,772,475	753,245	2,525,720	—	2,525,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	74,891	74,891	△74,891	—
計	1,772,475	828,136	2,600,611	△74,891	2,525,720
セグメント利益	402,724	145,230	547,955	△175,565	372,389
その他の項目					
減価償却費	98,011	3,702	101,713	—	101,713
のれん償却額	22,435	51,416	73,852	—	73,852

(注) 1. セグメント利益の調整額△175,565千円は、報告セグメントの減価償却費△101,713千円及びのれん償却額△73,852千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、原則として、事業用資産についてはセグメントを基準として、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当第2四半期連結累計期間において、出前館事業の一部のソフトウェアについて当初想定していた収益を見込めなくなったことから、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（ソフトウェア35,951千円）として特別損失に計上しました。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,878,266	690,515	2,568,781	—	2,568,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	96,504	96,504	△96,504	—
計	1,878,266	787,019	2,665,285	△96,504	2,568,781
セグメント利益	365,227	107,469	472,696	△131,662	341,034
その他の項目					
減価償却費	74,100	6,145	80,245	—	80,245
のれん償却額	—	51,416	51,416	—	51,416

(注) 1. セグメント利益の調整額△131,662千円は、報告セグメントの減価償却費△80,245千円及びのれん償却額△51,416千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、原則として、事業用資産についてはセグメントを基準として、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

第2四半期連結累計期間において、「出前館事業」セグメントで東京本社移転の意思決定に伴い、遊休資産等の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額(13,768千円)を減損損失として計上しております。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しております。